

午 後 の 部

(受付：12:20～)

●講演(12:50～14:00)

「わたしたちの防災・減災
—大規模災害にそなえて知ることの重大性—

高嶋 哲夫(作家)



慶応義塾大学大学院修士課程修了。1990年、「帰国」で第24回北日本文学賞受賞。1999年、「イントゥルーダー」で第16回サントリーミステリー大賞と読者賞をダブル受賞。代表作「ミッドナイトイーグル」が本年12月全国ロードショー。

●シンポジウム(14:10～16:10)

「地域とともに生きる—災害に強いまちの創生—」

パネリスト



高田 万由子(女優・タレント)

東京大学文学部西洋史学科卒業。著書に「高田万由子 愛いっばいの贈り物レシピ」などがある。1999年3月、バイオリニストの葉加瀬太郎と結婚し、同年に第1子となる長女を出産、2006年8月には、第2子の長男を出産し、現在は2児の母。

上田 孝行(東京大学大学院 教授)

専門分野は、社会基盤経済学、土木計画学。
東京大学大学院工学系研究科博士課程を経て、オーストラリア連邦科学産業研究機構に半年間在籍。現在、東京大学大学院工学系研究科教授として活躍中。



柄谷 友香(名城大学 准教授)

専門分野は、都市安全計画、都市防災計画。
阪神・淡路大震災を契機に防災研究に携わることを決意し、京都大学大学院工学系研究科博士課程を修了。現在は名城大学都市情報学部准教授として活躍中。

フォーラムご案内

2007年5月27日(日)

10:00～16:10

神戸学院大学
ポートアイランドキャンパス

神戸市中央区港島1丁目1番3
078-974-2536

「天災は忘れたころにやってくる」とよく言われますが、防災の政策は「備えあれば憂いなし」が本質です。地域の活性化につながる防災とは何かをシンポジウムのテーマとして講演とパネルディスカッションを行います。

災害を軽減するための努力は、対象とする災害によってその効果が目に見えるものとそうでないものがあります。毎年やってくる台風などに備えるために、河川の堤防を強くすることは目に見える災害対策ですが、数百年に1度しかおこらない強い地震に備えるための災害対策はなかなか一般の理解を得にくいものです。こうした観点から、災害が地域の経済活動や人の生活環境に及ぼす影響を評価するための最前線の研究はどんなものか、それを一般市民に分かりやすく解説するための方法論は何かなどをテーマとします。

災害を軽減するための投資が被害の軽減に直接役立つことはもちろんですが、それが地域の経済活動の活性化に大きく貢献できるようにするためにはどうすればよいか、温かみのある生活環境を創生するための一部として防災投資が役立てられるようにするにはどうすれば良いかなどを議論します。



シンポジウムコーディネーター

佐藤 忠信
(神戸学院大学 学際教育機構教授)

司会者 田中 さなえ(ラジオ関西パーソナリティ)

手話通訳 神戸ろうあ協会

